



公共交通
って大事なんですよ...実は

● 関連記事 4〜6ページ

☆☆活動報告☆☆

11 月 25 日 福井市環境展
12 月 19 日 月例会 理事会

☆☆今後の予定☆☆

12 月 20 日 (木) つながろっさ
1 月 16 日 (水) 月例会 理事会
1 月 25 日 (金) 地域公共交通セミナー
2 月 4 日 (月) ~ 13 日 (水) NPO パネル展
3 月 17 日 (日) 第 3 回福井・環境ミーティング

ゆうじんの部屋 書籍紹介

なぜ、町の不動産屋はつぶれないのか 牧野知弘

祥伝社新書 780 円 + 税

先に種明かしをしよう。町にはリスクをとるのではなく、長期的に賃貸収入で安定収入を得やすい中小地主も多い。町の不動産屋は、商工会議所、ライオンズクラブ等さまざまな地域貢献活動をする中で情報と信頼を得て、継続的に賃貸仲介、時には売買手数料を得ているというストーリーである。

文中には書いてないが、裏を読むと、中小地主は売却益をいつでも得られるよう駐車場等低利用するより、より安定的な高収益のため人に委ねて有効利用した方がいい街ができるということである。家計の都合で売却が必要になったときは、借地・借家人つきで買う資産家もいるので心配ないのである。特定の階層（特に公務員など）を攻撃していないせいか、なぜかほのぼのと読んで心が暖まる本である。

東海市会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

福井公共交通の歴史～改訂版

監修	本多 義明	(福井大学名誉教授)	著作	小谷 正典	(福井工業大学)
編著	川上 洋司	(福井大学大学院)	〃	川本 義海	(福井大学大学院)
〃	加藤 哲男	(名古屋産業大学)	〃	岸本 雅行	(仁愛女子高等学校)
〃	児玉 忠	(熊谷都市観察室)	〃	前川 政人	(福井南高等学校)
〃	三寺 潤	(福井大学)	〃	三田村佳紀	(福井県)

我が国の人口の高齢化はとどまるところなく続いている。また、地方都市においては都市収縮が予想される中、地方部における公共交通整備の必要性はますます高まってきている。高度経済成長期のモータリゼーションの急速な発展に伴い一度は役割を低下させたかにみえた公共交通がいま再評価されつつある。

本書は平成十二年に発行された「福井公共交通の歴史」の改訂版である。最近の十年間における福井の公共交通にかかわる動きを含めて最新の情報を提供する。

第一部は基本的に初版の内容に公共交通に関する国の方針・制度とそれに対応した福井の取り組みを加える。具体的には江戸期から明治・大正・戦前・戦後を通じた福井県内の公共交通の歴史を概観する。また、第二部は初版以降における公共交通に関するトピックスを追加する。福井駅前通りのトランジットモール社会実験などを紹介する。さらに、第三部はパーソントリップ調査に基づいて作成された福井都市圏総合交通計画、福井市総合交通戦略、えちぜん鉄道連携計画の紹介を通じて、今後の公共交通を生かした交通政策、公共交通とまちづくり等について提言的なことも含めて福井を展望する。

福井の公共交通の新たな整備と発展には、多くの知恵と理想を持ち、利用者、住民との連携が必要である。本書がそのための参考となれば幸せである。

B6 版 定価 1,300 円 (税込) 送料実費

■お問い合わせ・お申込■

一般財団法人 地域環境研究所

〒910-0006 福井市中央 3-1-5 三谷中央ビル 9 階

TEL : 0776-27-0078 FAX : 0776-27-7851 e-mail : ire-ami@themis.ocn.ne.jp

目 次

第 1 部 福井地域における公共交通整備史

第 1 章 江戸期から明治時代まで

第 2 章 大正時代から戦前まで

第 3 章 戦後から 20 世紀初頭まで

第 2 部 福井の公共交通あれこれ

第 1 章 まぼろしの鉄道…福井市の環状線

第 2 章 廃線・存続・豪雪

第 3 章 中心市街地形成と鉄道ルート

第 4 章 まちづくりとバス路線

第 5 章 車両よもやま話

第 6 章 ふくいトランジットモール等社会実験

第 5 章 車両よもやま話

第 6 章 ふくいトランジットモール等社会実験

第 3 部 公共交通再生・活性化の動き

第 1 章 公共交通はなぜ衰退に至ったのか？

第 2 章 公共交通の再生・活性化の意義

第 3 章 地方鉄道再生への途～えちぜん鉄道の経験から

第 4 章 路面電車再生・LRT 化への途

第 5 章 生活支援型地域公共交通をめぐる動き

第 6 章 結びにかえて

福井の公共交通のあゆみ (年表)

(きりとり線)

申 込 書

福井公共交通の歴史～改訂版 _____ 部 注文します。

ご住所：〒 _____

ご社名： _____

部課名： _____

ご担当： _____

電 話： _____ e-mail： _____

「公共交通の歴史フォーラム」に参加して

1.基調講演『人口減少社会の公共交通とまちづくり』 森本 章倫 氏（宇都宮大学大学院教授）



森本章倫先生

「人口減少社会が本格的に到来しつつあるが、地方都市圏の未来はどうなるのか…?」という疑問の投げかけから基調講演は始まりました。先生が勤めていらっしゃる宇都宮大学がある栃木県の事例も紹介され、空き家の問題や人口減少時代に増えている地域公共交通の現状などを報告頂きました。2050年には人口は現在より300万人も減ると予測されており、その対応策として未来の都市づくりへの戦略や先生のご専門である土地利用・交通の戦略を組み合わせる必要性、そして人口減少に対応した集約型都市構造へプラスのスパイラルを作る概念などを非常にわかりやすく紹介頂きました。個人的にとっても興味があったのは、「自動車王国アメリカの交通が変わる」と題した海外事例報告で、1人当たりのガソリン消費量のもっとも多い街であるヒューストンの道路空間の新しい使い方や、公共交通を市民合意で支えるシャーロットの街など、普段あまり目にする事のない事例が多く紹介され、会場の皆さんの興味を誘っていました。最後に、長年にわたって先生が深く関わっていらっしゃる「宇都宮のLRT導入計画」についても具体的に紹介がなされ、ユニークなエピソードを交えながら当事者ならではの経験談など、この場でしか聞くことができない貴重なお話を伺うことができました。

2.パネルディスカッション「公共交通が紡ぐ魅力あるまち、より良い生活」

パネルディスカッションでは、ROBA会員の川上先生がコーディネーターを務め、パネリストにはROBAとも深く関わりのあるえちぜん鉄道株式会社社長の見奈美さん、ROBA副会長の畑さん、全国路面電車サミット in 福井でお世話になった加藤先生、基調講演の講師を務めて頂いた森本先生が登壇され、活発な議論が交わされました。



登壇されたコーディネーター、パネリストの皆様

まず、公共交通事業者である見奈美さんからは、お客様を重視する様々なサービスやその精神が産業界で幅広く注目を集めていることなどを紹介頂き、えちぜん鉄道の新たな魅力を窺い知ることが出来ました。また、畑さんは市民代表という立場からROBAのこれまで取り組みや活動内容を総括して紹介し、聴講されている方々に市民活動の面白さを伝え、公共交通には市民活動が如何に重要かを強くアピールされました。過去に自治体職員であったという経歴をお持ちの加藤先生は、当時の公共交通に対する地方自治体の姿勢やこの10年で大きく変わった状況などをご自身の経験も交えてお話しされていました。森本先生からは、福井での様々な取り組み（ROBAの活動も！）を評価して頂き、都市計画的な視点からの都市経営の重要性をわかりやすく説明頂きました。最後に、川上先生がパネリストの皆さんの発言をまとめ、

人口減少社会だからこそ地域公共交通を見直す必要があるのだということを再確認されていました。会場からも質問・意見が出て、非常に有意義な時間となりました。ここで学び得たことを今後のROBAの活動に活かし繋げていけたらと思います。（文：三寺 潤）



畑さん、ROBA代表出演、お疲れ様でした！

今年も福井市環境展にブースを出しました！

はたみゆき

みなさん、省エネやリサイクルの言葉が浸透しましたが、「環境の日」とか、「福井市環境展」っていつから始まったのか知っていましたか？ 今まで何となく分かったつもりでいましたが、「あれ？いつからだっけ？？」と、分からなくなり、ROBANEWSに記事を投稿することをきっかけに、色々と調べたり、考えたりしましたので、ブース出展のコメントと併せて紹介します。

1. 「環境の日」「環境月間」と、「福井市環境展」のはじまり

☆「環境の日」1972年の国連総会において、世界環境デーを制定。日本では環境基本法(H5)により、6月5日を環境の日と定められました。

☆「環境月間」環境庁の主唱により、平成3年度から6月の1ヶ月間を環境月間として、全国で様々な行事が行われています。(昭和48年度～平成2年度までは、6月5日を初日とする「環境週間」)

☆「福井市環境展」環境月間に併せた催しとして、平成13年から始まったようですが、年度によって5月・6月・11月と開催時期はバラバラです。

2. 自宅では「分別」に力を入れています！

私は福井市から鯖江市に引っ越したのがキッカケで、現在はリサイクルに力を入れています。鯖江市では燃えるゴミの中に資源にならないプラスチックゴミも入れる事ができます。それだけでも福井市の頃よりゴミの分別が楽になった事と、町内で月1回の資源回収があり気軽に紙類の資源ごみが出しやすくなりました。また、「ダウンアンペアや、夏場のエアコンを使わない生活」はちょっと無理なので、省エネに大きく協力できない代わりとして、資源ごみの分別をしようと心掛けています。

例えば…お菓子の箱、ガム・飴の箱や包紙は勿論、1膳分の割り箸の袋もリサイクルし、「捨てればゴミ、リサイクルすれば資源」と思えるものは殆どリサイクル行きです。(完璧にはできませんが)

生ごみは、昨年冬から段ボールコンポストに挑戦中です。コンポストに投入できるのは、何でもOKではなく、塩分の強いものや貝殻、庭木等は適さないようです。これを始めてから生ごみが激減し、肥料として使うためには野菜だけでなく、動物性たんぱく質など、バランスの良い堆肥にしようと心掛けていました。夏場は水分調整も難しく、水分が足りないとカスカスになってしまい、米のとぎ汁や砂糖水を足して水分を補っていました。良いカンジで、虫もわからず順調・順調でしたが、仕事の都合で気力が続かず、夏最盛期で断念し、現在は途中休憩しています。(水分はピートモスが吸っちゃうので、生ごみは腐らずカラカラになっています。) 毎日のようにお世話を必要とするエコ、無理を伴うエコ、忍耐が伴うエコは継続がなかなか難しいですね(^ ▽ ^ ;)



↑段ボールコンポストのイメージ

3. 福井市環境展の報告

福井市の環境展、今年は大和田にある中央卸売市場において、「カニ祭り」「ふくいフレンチマルシェ」「市場関連商品売場棟の開放」が同時開催です。環境展の出展案内が届いた時から不安に感じていましたが、やはり、市場周辺は大混雑！会場には 940 台分の駐車場が用意されているにも関わらず、午前 9 時の開催前からほぼ満車、混雑を予想し周辺施設の駐車場に止めて来場する人で、いつもは閑散としている歩道にたくさんの人が歩いていました。

途中で、私も、どこぞの施設に無断駐車させてもらおうかとも思ったのですが、「危険行為はやめにして、何分でたどりつけるか時間を測ってみよう」と、混雑の波に乗りました。結果として、国道 8 号から市場の敷地に入るまでの約 550m で 30 分程度を要しました。隣の車線から無理矢理割り込んでくるおばさまにイラッしたり、市場には右折進入になるため、1 サイクルの信号で 1 台も入れないイライラに耐えながら何とか会場入りです。(スタッフでなければ即座に U ターンですね。)

環境展は 30m×40m のテントの中に 31 の展示ブースと、ステージやリサイクル商品コーナーなど、みっちり詰まっています。(とにかく寒い！放射冷却で全国的に寒く初霜・初氷、午前 9 時でも 0 度だった；)

ROBA はパネル展示を中心に、りんりんマップ改訂の地図を広げて、来場した方の意見を書き込んだりしました。清水さんはお客さんを引き入れる力が強く、女性客や高齢者の方に丁寧に説明をされていました。会場ではお客さんに展示を見てもらうためにクイズラリーがありました。ROBA はりんりんマップをクイズに設定したので、わずかな人達ですが、便利な 2 種類のマップがある事を知ってもらえた良い機会だと思います。また、残念なことにステージではミニ講演会等が催されていましたが、関係者の発表が終わるとサクラの人も去っていき、ROBA・FEPS の時間帯は観客 1 人、寒さに追い打ちがかかりました。



市場西側の道路(午前 10 時頃)



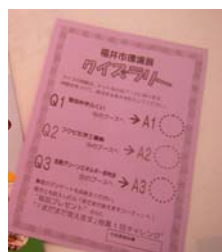
↑ ROBA ブース内のパネル展示



↑ 京福バスさんとお隣でした。



↑ 混雑中のマルシェ



↑ クイズラリーの抽選も長蛇の列



↑ ステージ会場(出待ち中)

朝から夕方まで大勢の人が中央市場に来場されていますが、環境展に来る人の多くはクイズラリーの商品目当てです。単なる啓発活動と捉えればいいのですが、ブース代を支払い、事前準備を行い、スタッフが 5 人参加し、殆どの人が素通りとなれば、NPO 側として得られた成果は非常に少ないと言えます。この催事は福井駅周辺を会場に、企画乗車券等と組み合わせてできなかったのだろうか。と考えさせられるイベントでした。

※ ちなみに、帰りも当たり前のように混雑し、国道 8 号(約 800m)に出るまでに 30 分かかっています。

福井市環境展に参加して

林 博

総括は畑さんに任せて、少しだけ追加。隣のブースに参加した京福バスが、バス利用者のバス待ちへのサービス向上の一つとして作成した「京福ナビ」の試作品を、タブレットで展示していたので見せてもらいました。ナビのベースマップはグーグルマップですが、区域及び路線案内にはバス案内所に掲示してあるマップと同じように、のりのりマップをカスタマイズして、使わせてほしいという依頼を、2か月ほど前に受けていて、納品し、入金もしていたので、その出来栄が気になりました。

12月7日に公開したようですので、みなさんもお覧下さい。

パソコン用 <http://busnavi.keifuku.co.jp/> 携帯用 <http://busnavi.keifuku.co.jp/m/>

今回は福井市から始めて、その後、京福バスの走る坂井、奥越のすべてに広げていく予定だそうです。



京福バス 最近の情報あれこれ

鳥居 健

丸岡深夜バス運行中

平日限定で福井駅 23 時発の丸岡行き深夜バスが運行しています。小松空港連絡バスの回送を客扱いするという画期的なアイデアで、余分な経費をほとんどかからず実現しました。

http://bus.keifuku.co.jp/topix/20121001_maruoka/

10 月から既に運行しているので最近の情報と言うには無理がありますが、これからの忘年会・新年会シーズンには、福井駅近辺から高木、大和田、丸岡方面に帰宅する方の需要が見込めるのではないのでしょうか。私自身、まだ利用するチャンスがなく、実際に運行している姿も見たことがありませんので、もし見かけた方がおられましたら、どの程度客が乗っているのか興味あるので情報をお知らせください。

高速バス大阪線臨時増発

福井～京都・大阪間の高速バスが、12月22日(土)～1月6日(日)と1月12日(土)～1月14日(月祝)の期間限定で増発され、1日3往復から4往復になります。詳細は下記 URL を参照してください。

http://bus.keifuku.co.jp/topix/20121222_hwosaka/hwosaka_nenmatunensi.pdf

所要時間は福井駅から京都深草まで2時間35分、大阪梅田まで3時間30分と特急サンダーバードと比べると倍近くかかりますが、運賃は京都まで2900円、大阪まで3500円と安く、地元バス会社の支援にもなりますので、時間に余裕のある方はぜひ利用してください。

コミュニティバス「すまいる」検討準備会に参加して 林 博

11月20日に開催された、まちづくり福井の「コミュニティバス『すまいる』検討準備会」に参加してきました。今回は3回目で最終回、これまでの会議参加は、畑、三寺とリレーされてきました。

参加者は、福井県立大浅沼准教授、福井市中心市街地振興課峠課長、地域交通課大谷課長、県バス協会野本専務、京福バス矢部代理、ROBA林代理、駅前商店街（今回も含めて全部欠席）。

最終回の今回は、まず、近県でのコミバスの実態や、ちょっと古いが横浜国大の論文などが紹介されました。1便当たりの利用者人数は15人と最も多いが周回30分であるためと考えられ（周回15分、20分の岐阜、富山では12人、11人）、また乗車区間距離も同様に最も長くなっている（待ち時間が長く短い距離なら歩いてしまう）。

また、各都市と同様に、1日フリーパス、ICカードを発行したが、利用があまり伸びていないので、活用方法について意見交換が行われ、以下のような意見が出ました。

- ・隣のルートの大きな病院などへいくときに、これを使えば300円で往復できますなどの、目的行動にあわせた対応イメージを例示するとよいのでは。ちなみに、鯖江市の「つつじバス」は連続運行していることもあり、神明駅・JR鯖江駅連絡早見表をつくって、案内している。

参考までに http://www3.ocn.ne.jp/~fba/access_infomation/group_sabae/sabae.htm

- ・金沢市が、小学生にふらっとバスで巡るコースを募集し、優秀作品を表彰しているようだが、福井でも活かせるのではないか。子供対象のイベントはカーフリーデーでも効果がある。

また、今後の「すまいる」のあり方について議論がなされました。当初の中心市街地活性化としての意味合いに加えて、高齢社会にあって沿線住民の移動サービスの向上という意味が向上しているとの説明がありました。しかし、示された利用実態のデータは平成16年と古く、それ以降の本格的調査を実施しておらず、現状把握データは利用実態に合わせたサービス向上には欠かせない資料であり、ぜひとも早急な実施を望むところです。ただ、それをカバーするデータとして、福井市から沿線の住民の人口構成データが提供され、北、西ルートは60代が最も多く、東、南ルートは40代と60代が多いことが示されました。

また、すまいるの運行ルートへの要望への対応については、

- ・みどり図書館、赤十字病院については「清水グリーンライン」で対応済み
- ・みのり・花堂地区については、「生部みのり線」で対応済み

さらに、ルートの一部見直しで、観音街商店街については駅周辺区画整理事業に合わせて、その他の地区については周回時間に影響がない範囲とすべき、などの意見も出ました。

今後の果たすべき役割については、福井駅前広場のバスターミナルへの乗り入れに対して、総合交通ターミナルには欠かせない都市内交通手段である「すまいる」は、駅広が狭いからとか、運行管理が難しいからとか、という入れられない理由を挙げる前に、入れることを決定して、そのための方法を工夫していく必要がある。それによって、東ルートの30分運行も可能になるなど、すまいるの運行ルートの見直しも余裕が出てきて、楽になるはず。その結果、中心市街地活性化のためだけの意味合いよりも、高齢社会における都市内移動サービス手段としての意味合いがますます高まっていき、県内外からの利用者が増加していくのではないかと、私見を力説しておきました（どこかの問題と、全く同じ論理ですし、その結果を恐れて欠席した人がいるかもしれません）。

夏をふり返ってみた…

今年の夏も暑かった！ちょっと前まで夏だったのに、木枯らしが吹きセンチメンタルな気分になることもなく、やはり、いきなり冬がきた。

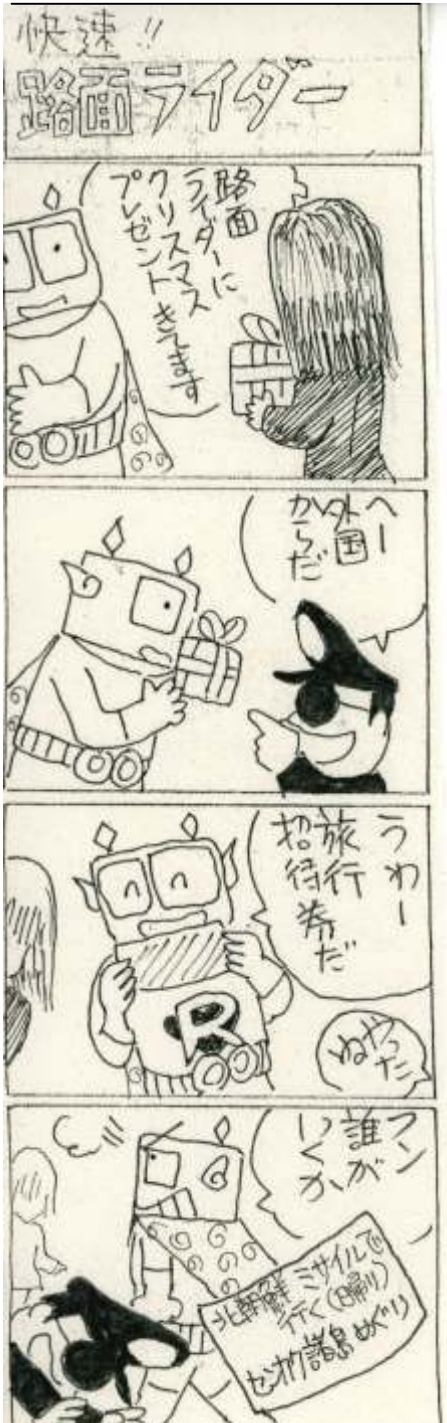
今年は路電サミット等のイベントがあった事と、11月に入ってから休日の天気が悪いせいで、春に咲く球根類や草花の苗をまた植えていない。(ヤバイ 雪が積もっている。)数日前、何気に携帯の中に記録してある写真を見ていたら、夏真っ盛りの写真が残っていた。これから本格的な冬に入る前に、あの頃を思い出してみようか…。



自宅で育てているバラに、「アマガエル」や「殿さまガエル」が住みついている。重量級のヤツは土の中に穴を掘って、軽量級のヤツは花卉の中に。あたしって、カエルが大の苦手で、4年かけてパッと見まで出来るようになった。生まれだてのチビっこい奴は何とか可愛いかな？と思えるけど、触ったり触られたりしたら「ギャー」と思わず叫んでしまう。今年も何度叫んだことだろうか。記録を残せば何かと役に立つだろうと頑張って手をピンと伸ばし、ズームアップでシャッターを切ってみた。



今年も入道雲をたくさん見た。携帯のカメラで写すと思い通りにならない事が多い。しかし、それでも頑張って撮り続けている。



作／漆岸 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「本年は個人的には充実した1年でした。ROBA 事業も予定どおり実行してまいりました。来年は還暦です。気持ちをリフレッシュして新たなスタートを切りたいと思います。」

林(変集長)

「来年は10年ぶりのライブ演奏をやりたいなー」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>